

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公表番号】特表 2005-526713 (P2005-526713A)  
 【公表日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-035  
 【出願番号】特願 2003-561587 (P2003-561587)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/136 (2006.01)**  
**A 6 1 P 9/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 25/04 (2006.01)**  
**A 6 1 P 25/20 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/136  
 A 6 1 P 9/06  
 A 6 1 P 25/04  
 A 6 1 P 25/20  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 23 日 (2006.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電位依存性ナトリウムチャンネルの強力な活性化に基づく疾患の治療用医薬組成物を調製するための、アンブロキシソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 2】

テトロドトキシン耐性ナトリウムチャンネルの活性化に基づく疾患の治療用医薬組成物を調製するための、アンブロキシソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 3】

慢性的疼痛治療用の医薬組成物を調製するための、請求項 1 又は 2 に記載のアンブロキシソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 4】

興奮毒性によって誘発される脳障害の治療用医薬組成物を調製するための、請求項 1 又は 2 に記載のアンブロキシソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 5】

心臓不整脈治療用の医薬組成物を調製するための、請求項 1 又は 2 に記載のアンブロキシソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 6】

アンブロキシソールと、鎮痛薬、抗痙攣剤、神経保護物質及び抗不整脈薬から選択される 1 種又はそれより多くの有効成分とを含む医薬組成物。

【請求項 7】

鎮痛薬、抗痙攣剤、神経保護物質及び抗不整脈薬から選択される 1 種又はそれより多くの有効成分と共に、アンブロキシソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩を使用する、

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項記載のアンプロキソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 8】

麻酔薬、非ステロイド系鎮痛薬、ガバペンチン、抗鬱薬及びアルファアドレナリンアゴニストとから選択される 1 種またはそれより多くの有効成分と、アンプロキソールとを含む医薬組成物。

【請求項 9】

麻酔薬、非ステロイド系鎮痛薬、ガバペンチン、抗鬱薬及びアルファアドレナリンアゴニストとから選択される 1 種またはそれより多くの疼痛軽減剤と共に、アンプロキソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩を使用する、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項記載のアンプロキソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 10】

アンプロキソール又はその薬理的に許容される塩を含有する疼痛又は腫瘍性疾患治療用医薬組成物。